

福島第一原子力発電所従事者の被ばく線量 の全体概況について

平成 27 年 9 月 2 日
東京電力（株）



東京電力

1. 発災以降の放射線業務従事者の累積被ばく線量分布 (H23.3.11以降の累積線量)

区分(mSv)	H23.3～H27.6月		
	東電社員	協力企業	計
250超え	6	0	6
200超え～250以下	1	2	3
150超え～200以下	26	2	28
100超え～150以下	117	20	137
75超え～100以下	301	214	515
50超え～75以下	331	1,476	1,807
20超え～50以下	627	6,021	6,648
10超え～20以下	601	5,499	6,100
5超え～10以下	498	5,134	5,632
1超え～5以下	836	9,238	10,074
1以下	1,147	11,924	13,071
計	4,491	39,530	44,021
最大(mSv)	678.80	238.42	678.80
平均(mSv)	23.01	11.25	12.45

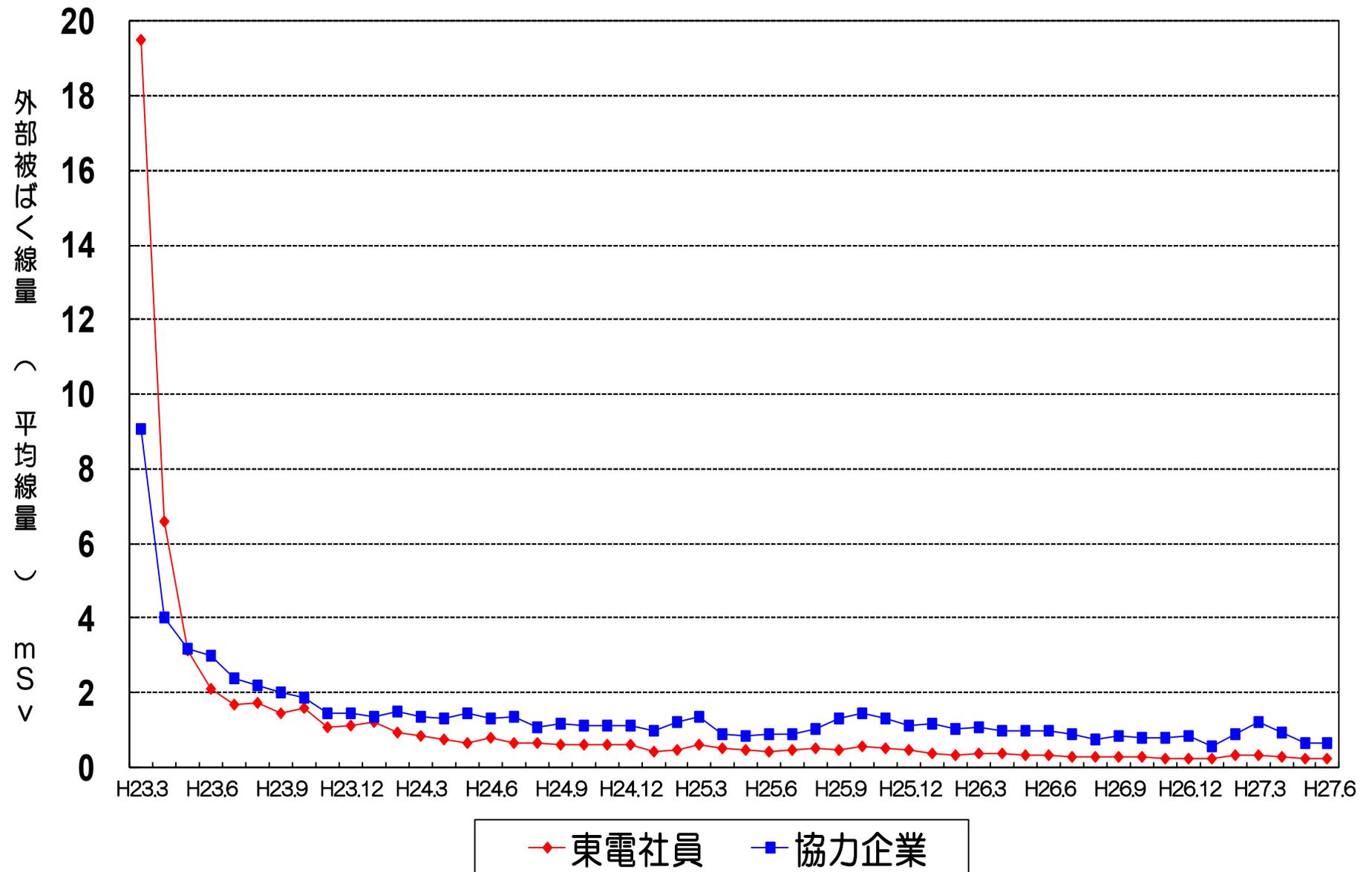
100mSv以下

50mSv以下

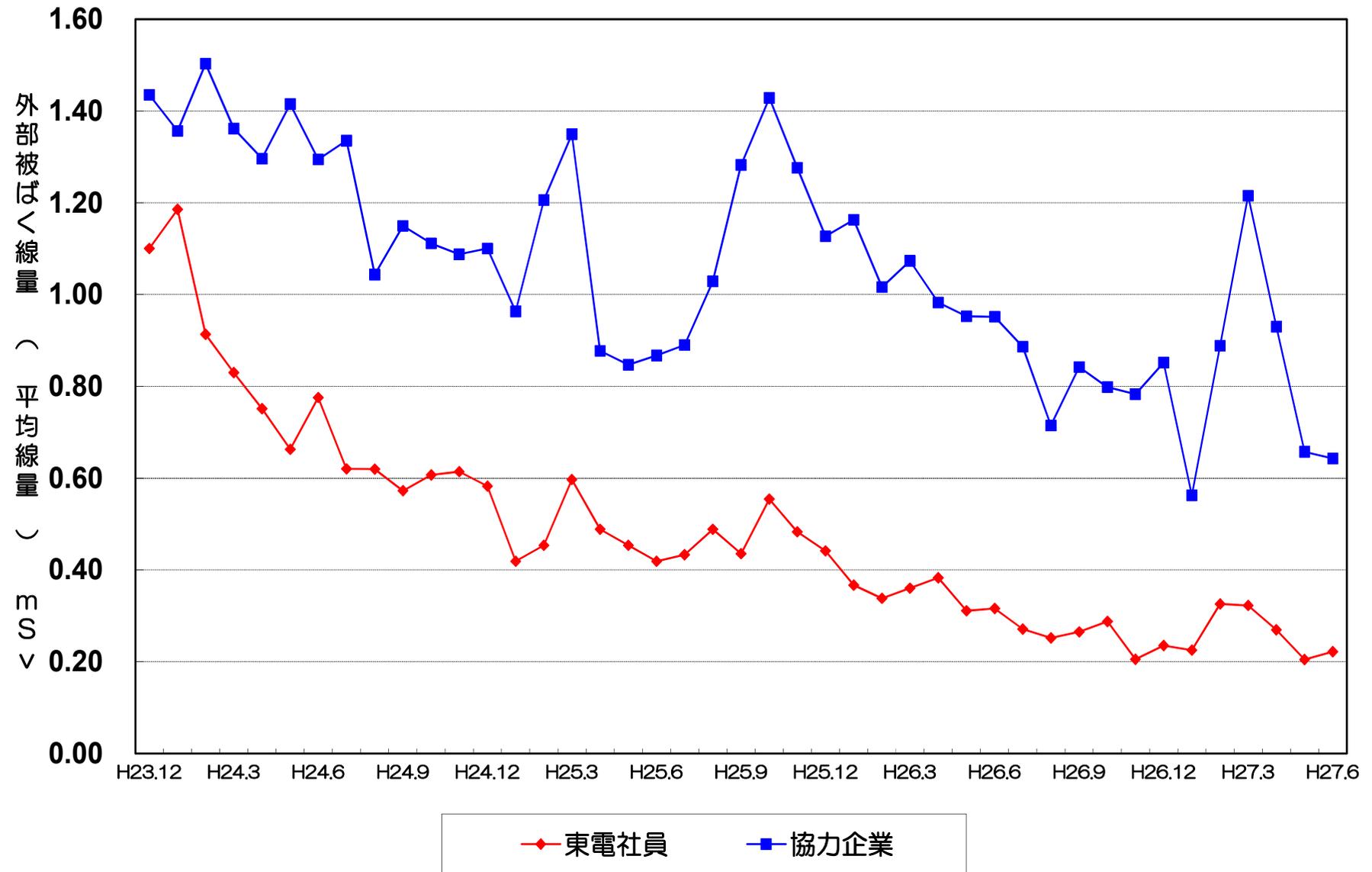
OH23.3.11からH27.6.30までに福島第一原子力発電所にて放射線業務に従事した作業者44,021名のうち

- 43,847 (99.6%) は発災後の累積線量が100mSv以下
- 41,525名 (94.3%) は累積線量が50mSv以下

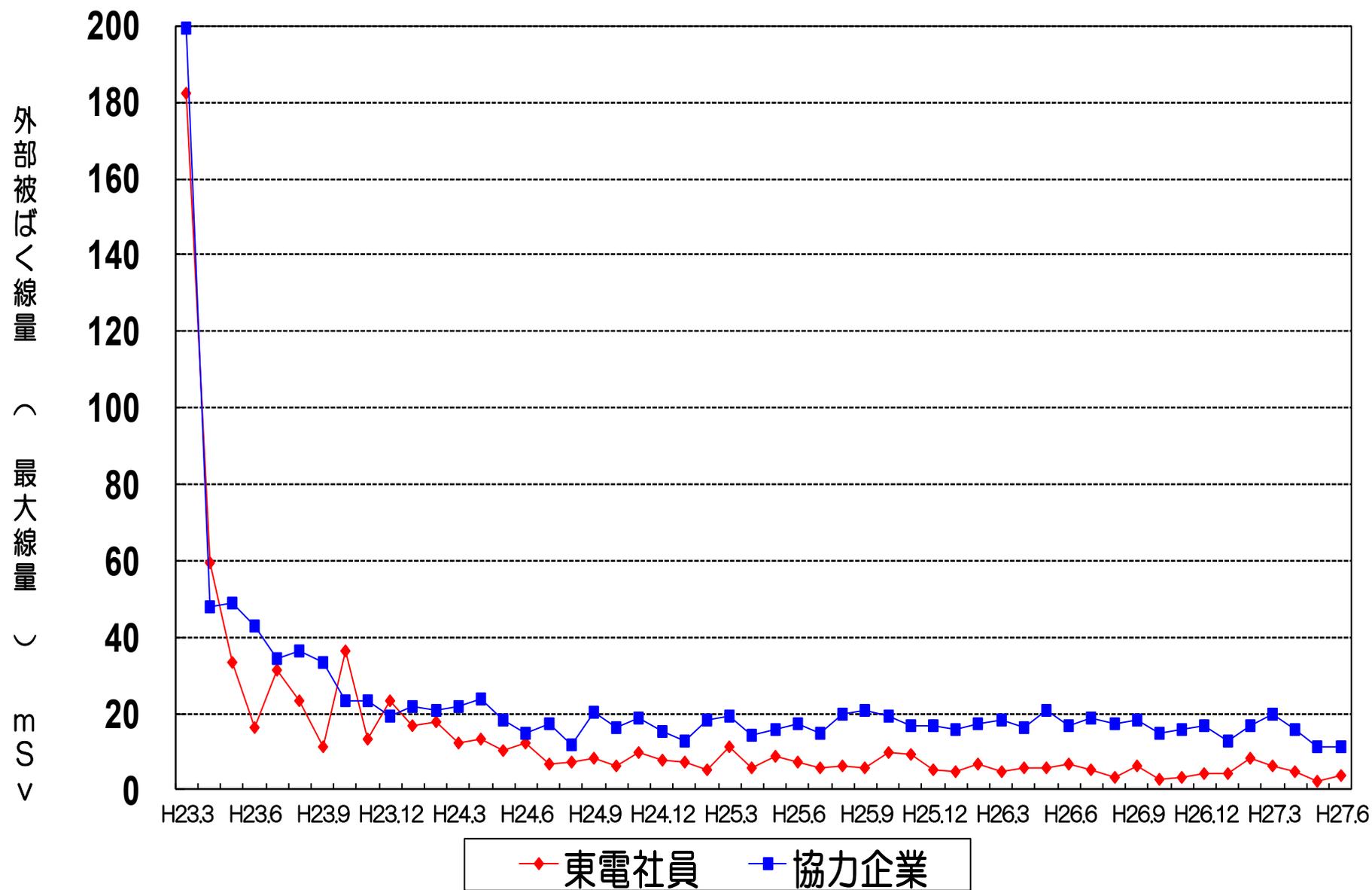
2. 発災以降の月別被ばく線量の低減状況（月平均線量）



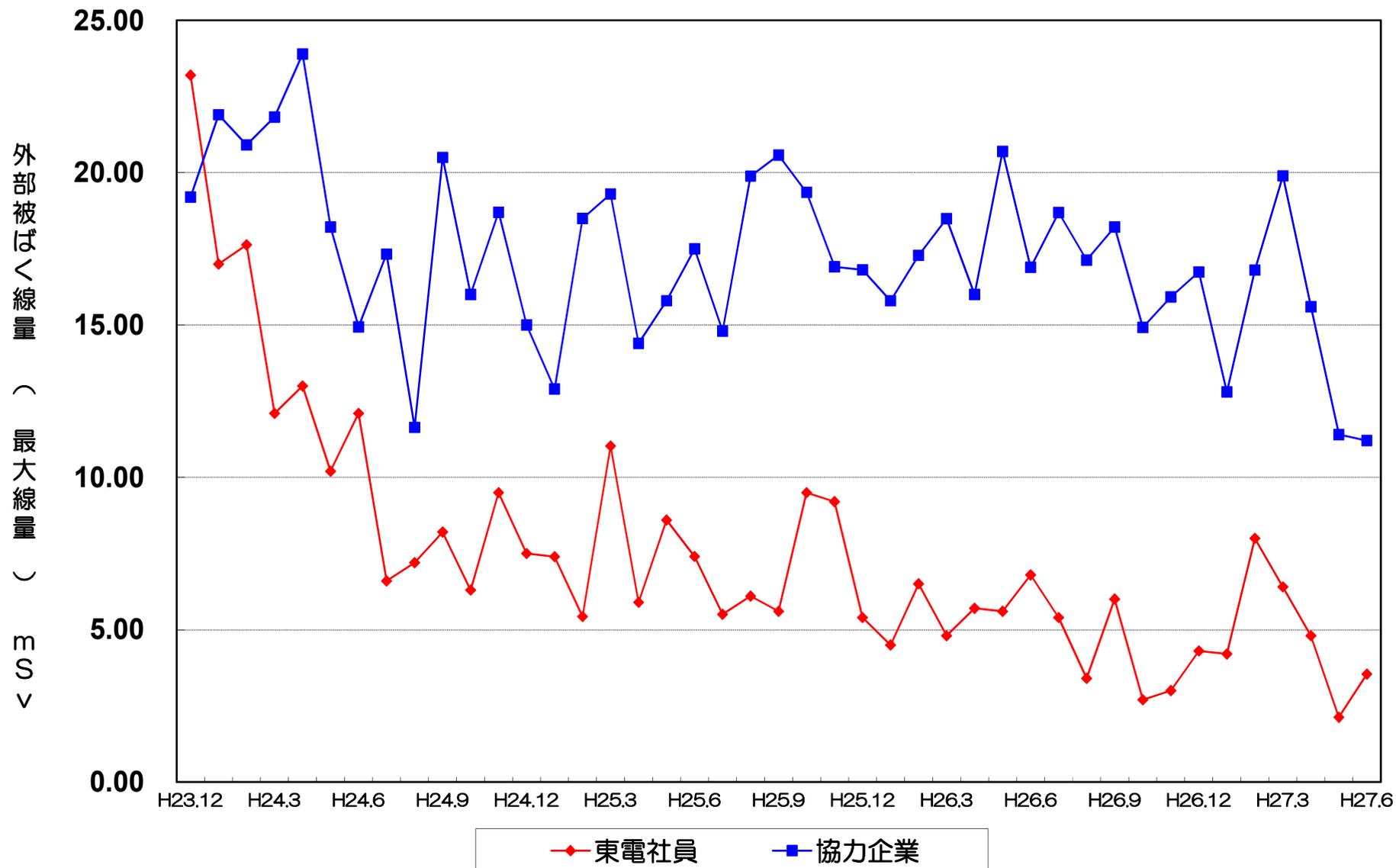
3. ステップⅡ以降の線量推移（月平均線量）



4. 発災以降の月別被ばく線量の低減状況（月最大線量）



5. ステップⅡ以降の線量推移（月最大線量）



6. 現在の状況 (放射線業務従事者の累積被ばく線量 H26年度分)

区分(mSv)	H26.4～H27.3月		
	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0
20超え～50以下	11	997	1,008
10超え～20以下	60	2,599	2,659
5超え～10以下	158	2,775	2,933
1超え～5以下	637	5,313	5,950
1以下	822	7,358	8,180
計	1,688	19,042	20,730
最大(mSv)	29.50	39.85	39.85
平均(mSv)	2.30	5.29	5.04

○H26年度（4月～3月）に作業実績のある20,730名のうち

- 20,730名（100%）は50mSv以下
- 19,722名（95.1%）は20mSv以下
- 14,130名（68.2%）は5mSv以下



○全ての作業員について被ばく線量は線量限度内(50mSv/年)に管理されており、引き続き従事可能な状況である。

なお、一部の東電社員については、電離放射線障害防止規則第7条の緊急被ばく限度（100mSv）が適用される特定高線量作業従事者となっているが、特定高線量作業従事者についても通常時における線量限度(50mSv/年)を超える従事者は無かった。

6. 現在の状況 (放射線業務従事者の累積被ばく線量 H27年度分)

区分(mSv)	H27.4～H27.6月		
	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0
20超え～50以下	0	6	6
10超え～20以下	0	318	318
5超え～10以下	13	1,052	1,065
1超え～5以下	214	3,684	3,898
1以下	1,058	7,233	8,291
計	1,285	12,293	13,578
最大(mSv)	8.52	28.94	28.94
平均(mSv)	0.61	1.84	1.72

○H27年度（4月～6月）に作業実績のある
13,578名のうち

- 13,578名（100%）は50mSv以下
- 13,572名（99.96%）は20mSv以下
- 12,189名（89.8%）は5mSv以下



○作業者の被ばく線量は線量限度(50mSv/年)
に対し引き続き従事可能状況である。